

今日の道徳も、一度きりの授業だから。

先生方の授業づくりをサポートする工夫

自分の心の内を、じっくりと見つめられるように。
仲間と意見を交わし、学び合い、高め合えるように。
人間のよさやすばらしさに触れて、
自分自身に誇りをもてるように。

今日のこの一時間を最高の授業にしたい。

子どもたちの深い学びにつなげたい。

一度きりの授業を大切にする先生方のために、

さまざまな面から授業づくりを支える手だてを考えました。

ポイント1

教科書の補助資料

授業の展開に応じて
柔軟に活用できる資料が充実

ポイント2

教師用指導書

初任者からベテランの先生まで
誰でも納得のづくり

ポイント3

指導者用デジタル教科書(教材)

「道徳」のためのデジタル教材
新しい授業スタイルを創造

折に触れて活用できる。別冊

別冊ノート 「学習の記録」以外は資料集として柔軟に活用できます。

いじめの構造

被害者：いじめられている子供
 加害者：いじめている子供
 観衆：はやしたたりして
 面白がったりして
 見てる子供
 傍観者：見て見ぬ振りをする
 子供
 傍観者：いじめを止めに入る
 子供

「観衆」はいじめを積極的に是認し、「傍観者」は積極的に支援してはいく。

図・表

いじめの構造

被害者：いじめられている子供
 加害者：いじめている子供
 観衆：はやしたたりして
 面白がったりして
 見てる子供
 傍観者：見て見ぬ振りをする
 子供
 傍観者：いじめを止めに入る
 子供

「観衆」はいじめを積極的に是認し、「傍観者」は積極的に支援してはいく。

図・表

いじめの構造

被害者：いじめられている子供
 加害者：いじめている子供
 観衆：はやしたたりして
 面白がったりして
 見てる子供
 傍観者：見て見ぬ振りをする
 子供
 傍観者：いじめを止めに入る
 子供

「観衆」はいじめを積極的に是認し、「傍観者」は積極的に支援してはいく。

図・表

[illegible]

教科書の学びを広げる・深める

もちろん授業での使用もOK

映像・写真・Webサイト
へのリンク

Web コンテンツをご用意しています



中身の透視
自分を見つける1

例

- - - - - 主として自分自身に関すること
- - ● - - 主として人との関わりに関すること
- - ● - ● - 主として集団や社会との関わりに関すること
- - ● - ● - ● - 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

← このマークのあるページは、右のQRコードや下のURLから、関わりのある情報を見ることが出来ます。

進徳ノート
1ページ

インターネット ←

<http://www.kosaidokutaki.jp/doutoku/cd/707>





全学年もくじ

もくじの2次元コードを使うか、URLに直接アクセスすることで、補助資料コンテンツを活用できます。

学びを広げる。学びを深める。

thinking 教材と合わせて活用できる資料ページ(全学年に3編)

[illegible][illegible][illegible]

簡明な「朱書編」と「道徳とは何か」を紐解く「理論編」。 指導の手助けとなるさまざまなアイテム。

教師用 指導書

板書例や発問構成などをしっかりガイド 朱書編

【発問2】佳子が嫌な思いをします。『私』がSNSを覗いていたのはどうだろうか。

【発問3】佳子は『私』との食事を、どのような時間大切にしようとしているのか、佳子の心情を想像し、二人のすれ違いを捉えよう。

2

いつでも・どこでも・誰とでも

礼儀

【主題】よりよいコミュニケーション

【ねらい】レストランでの出来事における『私』の問題とその解決について考えることを通して、礼儀の根底にある人間尊重の精神の大切さに気づき、時と場合に応じた適切な行動で、他者を思いやる心を伝えていこうとする道徳的判断力を高める。

■授業の流れ

【導入】様々なコミュニケーションの方法を想起させ、コミュニケーションにおいて大切なことは何かを振り返らせる。

【展開】教材を読んで考える。

【発問1】『私』が、テーブルの空気が冷たくなっているような気がしたのはどうしてだろう。

【発問2】『私』の振る舞いが原因で起きた問題場面を状況を確認する。

■教材の構成

対面の機会

情報機器によるコミュニケーション

友人との対面のコミュニケーション

情報機器によるコミュニケーションに事になる

友人の不平を買う

■板書例

11

教材研究ができる情報満載でがっちりサポート 実践編

授業展開例A 「僕」にかけ言葉を書き、自分事として捉えさせる展開

生徒の学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導の留意点
① 授業の導入活動 授業の題材を知る。	今日の道徳の授業の題材は何かと質問をかけた場合、どの生徒も「僕」の物語だと答える。	題材への導入だけでなく、物語に登場する登場人物の心情を捉えさせる。
② 教材をじっくり読む活動 物語の状況を確認する。	① 「僕」は友達に話しかけた後、友達の様子を窺うが、どうも話しかけたことが伝わっていないように感じる。② 「僕」は友達に話しかけた後、友達の様子を窺うが、どうも話しかけたことが伝わっていないように感じる。③ 「僕」は友達に話しかけた後、友達の様子を窺うが、どうも話しかけたことが伝わっていないように感じる。	① 「僕」の心情を捉えさせる。② 「僕」の心情を捉えさせる。③ 「僕」の心情を捉えさせる。
③ 友達と話す活動 友達の様子を確認する。	① 「僕」は友達に話しかけた後、友達の様子を窺うが、どうも話しかけたことが伝わっていないように感じる。② 「僕」は友達に話しかけた後、友達の様子を窺うが、どうも話しかけたことが伝わっていないように感じる。③ 「僕」は友達に話しかけた後、友達の様子を窺うが、どうも話しかけたことが伝わっていないように感じる。	① 「僕」の心情を捉えさせる。② 「僕」の心情を捉えさせる。③ 「僕」の心情を捉えさせる。

◆ねらい

自分の失敗を認めたことについて、他者の心情を感じ続ける「僕」の思いについて考えることを通して、人間のもつ気風を生きようとする心に関わり、自分の弱さや誤りを認めて、よりよく生きようとする道徳的心を育む。

◆本展開のポイント

① 女子生徒を中心に物語のルールに馴染みのない生徒も少なくない。物語に詳しくない生徒の助けを借りながら、この状況では誰がタッチをしてアウトが成立することを確認する。説明に時間をかけすぎないように注意したい。

② 中心展開で「僕」の心情を捉えさせる。生徒の発言を取り入れ、すべてを知っている仲間という設定で、「僕」の心情を捉えさせる工夫を考案する。

◆評価

生徒評価の観点

◆友達の心情を感じ続ける「僕」の思いについて考えることを通して、人間のもつ気風を生きようとする心について考える。自分の失敗を認めたことについて、他者の心情を感じ続ける「僕」の思いについて考えることを通して、人間のもつ気風を生きようとする心について考える。



問題解決的な学習を取り入れてみよう

うちのクラスだと生徒同士で話し合いもいいな

すべての教材に2つの授業展開例。

展開例ごとに板書例、指導のポイント、そして生徒評価の視点、授業評価の観点を示しています。

この教材だと感動にひたさせたい

体験的な学習は入れられないかな



デジタル教科書(教材)

道徳でICT

さまざまな写真や動画を収録している指導書用デジタル教科書(教材)が付属しています。

※デジタル教科書については次のページでさらに詳しく

道徳ROM

諸計画立案や授業準備をスムーズに

- 【収録内容】
- ・道徳教育全体計画案
 - ・全体計画別業作成ツール
 - ・年間指導計画案
 - ・授業指導案
 - ・教材準拠ワークシート集
 - ・場面絵・顔絵イラスト集
 - ・どうとく通信 など

朗読編

聴いて味わう

- ・すべての読み物教材の朗読音声収録予定です。
- ・情感あふれる朗読で教材の世界へと誘い、生徒の心を豊かに育てる道徳科の授業を演出します。

理論編

道徳を深く学ぶために

「道徳とは何か」を紐解く解説書です。内容項目や児童の発達の段階、諸計画立案や評価にあたっての要諦を解説します。

- 内容項目解説 ……横山 利弘
- 道徳教育の実践 ……七條 正典
- 道徳科の評価 ……柴原 弘志 など

指導書はとにかく詳しく、わかりやすく。

授業展開を考慮した動画。
使いやすさを追求したインターフェイス。

指導者用
デジタル教科書

道徳に「デジタル」、3つの理由。



1 大事な箇所をみんなで確認しながら進めやすい

マーカーを引いたり、紙面を拡大したりしながら進めることで、すべての生徒が教材を理解しやすくなります。

2 授業のテンポがよくなる

教科書紙面・補助資料・朗読音声为一体となっているので、いくつもの教材・教具を使う必要がありません。話し合いの時間を確保しやすくなります。



▶2年⑥
「野生の猛禽を守るために」



▶3年⑫
「千年先のふるさとへ」

授業づくりを支える
映像を多数収録

3 映像資料の活用で魅力ある授業に

実話の教材などは、実際の映像があると効果的です。教材理解を助けるとともに、説明の時間を短縮します。

1年⑫アップルロード作戦 授業展開例 ▶動画「りんご並木」

導入 本時の題材を知る
今日の話はどのようなところが舞台？

展開 教材を読んで、話し合う

- ・ どうして飯田東中学校の生徒たちは、ここまで頑張れた？
- ・ みんなが実現しようとした「理想」って？
- ・ 今の飯田東中学校の生徒に受け継がれているのは、どのような思い？

展開 自己を振り返る

私たちにとっての「郷土」について、自分の考えをノートに書いてみよう。

▶動画「現在のりんご並木」



「デジタル」で道徳。授業で使える、使いたくなる。

みんなでともに考える、
だから道徳は楽しい。

誰でも見やすい・読みやすい

ユニバーサル デザイン

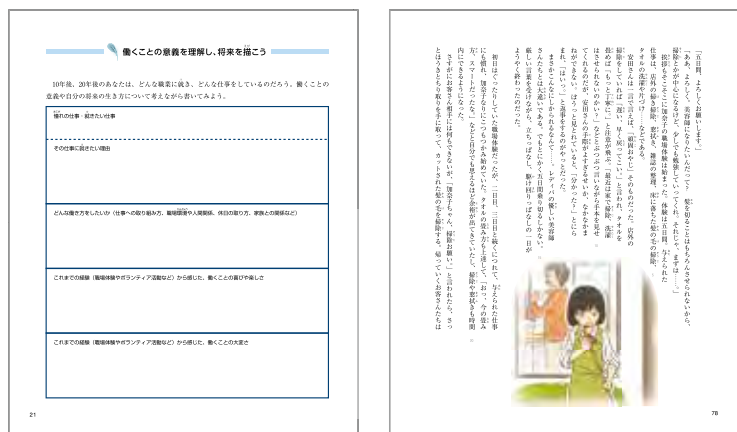
カリキュラム
マネジメント

学校教育全体で心を育む。

カリキュラムマネジメントをたしかなものに

他の教育活動との関連を図りやすい内容・構成・配列です。

全学年の内容一覧では、他の教育活動との関わりを示しています。
特に重要な教育的課題である生命尊重・いじめ防止・情報モラル
との関連を重視しています。



▲2年別冊p.21「働くことの意義を理解し、
将来を描こう」 ▲2年本冊18「加奈子の職場体験」

番号	教科名	内容項目	他教科・領域 等との関係性
①	この人生の人生について	自己、自律、自由と責任	特別：キャリア
②	目標と達成のために	夢、希望、理想、努力と達成	特別：キャリア
③	親戚の存在について	家族、自由、自由と責任	特別：キャリア
④	未知なる「生きるとは何か」	人生の意義	特別：キャリア、特別：倫理
⑤	いつかの「イオイン」	よりよく生きる働き	特別：キャリア
⑥	アイツ	文化、芸術	特別：キャリア
⑦	半歩おとちい 半歩おとちい	言葉	特別：キャリア
⑧	母の愛の物語	家族、愛情	特別：キャリア
⑨	ラスト	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
⑩	「でもいかにいかに」 何となく	文化、社会正義	特別：キャリア
⑪	あのぼくはよのなかの「ワグネル」 マスター	音楽、文化	特別：キャリア
⑫	大森の物語	文化、個性の個性	特別：キャリア
⑬	アップル・パイ・パイ	親戚の存在と文化の個性、夢と希望を伝える	特別：キャリア、特別：倫理、特別：キャリア
⑭	道場の花	生きるとは何か	特別：キャリア
⑮	母の愛 愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
⑯	母の愛 愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
⑰	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
⑱	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
⑲	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
⑳	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉑	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉒	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉓	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉔	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉕	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉖	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉗	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉘	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉙	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉚	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉛	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉜	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉝	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉞	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㉟	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊱	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊲	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊳	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊴	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊵	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊶	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊷	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊸	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊹	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊺	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊻	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊼	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊽	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊾	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア
㊿	母の愛の物語	家族、文化、社会正義	特別：キャリア

①～② 夢、希望、理想、努力と達成
③～④ 家族、文化、社会正義
⑤～⑥ 生きるとは何か
⑦～⑧ 文化、芸術
⑨～⑩ 言葉
⑪～⑫ 家族、愛情
⑬～⑭ 家族、文化、社会正義
⑮～⑯ 家族、文化、社会正義
⑰～⑱ 家族、文化、社会正義
⑲～⑳ 家族、文化、社会正義
㉑～㉒ 家族、文化、社会正義
㉓～㉔ 家族、文化、社会正義
㉕～㉖ 家族、文化、社会正義
㉗～㉘ 家族、文化、社会正義
㉙～㉚ 家族、文化、社会正義
㉛～㉜ 家族、文化、社会正義
㉝～㉞ 家族、文化、社会正義
㉟～㊱ 家族、文化、社会正義
㊲～㊳ 家族、文化、社会正義
㊴～㊵ 家族、文化、社会正義
㊶～㊷ 家族、文化、社会正義
㊸～㊹ 家族、文化、社会正義
㊺～㊻ 家族、文化、社会正義
㊼～㊽ 家族、文化、社会正義
㊾～㊿ 家族、文化、社会正義

● 他の教科や教育活動との関わり

2 目標は小刻みに

まだ私が十代の頃のことでした。元来私は運動細胞が豊かではなかったが、ある年に先になった二度、国体マラソン大会で二回優勝した。団体マラソンの選手と走るとのはいくつありましたが、団体マラソンの競走をするのですが、その採点法は、参加者全員の中で一番着十番点とし、以下二番点三番点と三十秒とか一分とかに切って、九点、八点、七点と、いよいよ点数を減らしていき、ある時間以上たつて、あるいは人数を減らすことになっていて、各団体ごとに団員の点数の合計を出し、それで順位を決めるという仕組みになっています。走り終る約一万メートルある学校の校庭に出て校庭に横たわっている一人居てもいいから、私の脚力を知っている友人に、「どうせ君は零点に決まってる。始めからゆっくり歩いていこうが口だよ」となぞと冷やかされて、本当にさうかもしれない、と思ったくらいだったのです。

しかし、また一方で、そういう冷やかに反発する気持ちもあつた。それがとにかく一つ野心を起させてみた。野心にしてもものごとにつけ加減を忘れたが、それこそであつた。

「断固として三点以上とさせてやる。そのためには、どんなに苦しくても最後まで走り続ける」。これまでも例を見んと、忠実に最後まで走り続けたら三点以上だった人はいないのだ」。

野心心だけではなく、私の私生活では、決して大目過ぎる野心想でもない、また小目過ぎる野心でもない、と考えたのでした。

そこで、いよいよスタートを切り出したのが最初の二千メートルほどは、私はほとんど最後尾に近いところを走っていました。次の二千メートルでは、かなりの数を追いつきました。そしてさらに次の二千メートルでは、だいたい団員の中にどくらゐ入っていくようと思ひました。

ところで、その頃にはなくとも、私も次第に疲れてきて小さな石ころにもつまみついて転びそうなので、「だいたやつと半分じゃないか、今からいなくなつて、もう自分で自分を勵ましてみるよ、どうにもなりません



2
目標は小刻みに

下村 湖 人

道徳ノ一
4へ一

まだ私が二十代の頃のことでした。元来私は運動競技などにはほとんど縁のない人間ですが、あとも先にもたった一度、団体マラソン競走というのに加わったことが

● **ゆとりある紙面構成**

A B判の判型を採用し、イラスト配置を工夫することで、圧迫感のないゆとりのある紙面構成になっています。

● **文字や行間の統一**

本文の文字のサイズ、文字間や行間、本文周辺の余白などを原則として統一しています。また、小学校からの系統性を考慮して、一年生は本文の文字を大きくするなどの工夫をしています。

● **振り仮名**

誰もが内容を正確に理解できるよう、配当漢字及び未習の漢字については、すべてに振り仮名を配しました。読みやすさを考慮し、固有名詞は初出のみにしています。

夫をしま

初出のみに

ユニバーサルデザイン

色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう配慮しました。専門の第三者機関に検証を依頼し、CUD認証マークの取得を申請しています。

● 環境にやさしい用紙、印刷

印刷には植物油インキを用い、用紙は再生紙を用いました。なお、本冊は発色のよさ、見やすさを、別冊は鉛筆での書きやすさ、消しやすさを重視し、それぞれの構成内容を重視し、それぞれの構成内容や使用用途を踏まえた用紙を用いました。

●製本の工夫

別冊は紙面が開きやすい
「中綴じ」製本としました。

また、針金は内側に曲げる
ことで安全性の向上を図ると
ともに、「三か所留め」で十
分な強度を確保しました。

● 別冊を本冊に
収納可能に

本書は二分冊構成ですが、本冊に別冊を挟み込むことで一体となるように製本されています。

これにより、生徒の「心の記録」である別冊の管理を容易にし、年間を通しての紛失を防ぎます。

社会に生きる人々の「性の在り方」は多様であり、それによって差別されるべきではないという内容にしています。

「世界人権宣言」を掲載し、全世界の人々が生まれながらにしてもっている基本的人権について、しっかりと確認できます。

正義と公正さを重んじ、公平な社会をつくる

私たちの社会は、人種や階級、性的な方、使う言語や文化、宗教など、さまざまな異なる人々の集合で構成されている。この多様性に富んだ社会に、公平な正義を実現するためには、一人一人が不正な言動、差別や偏見を許してはいられない。

さて、人間は、自己中心の心を持った進化する生物で、善者といふ小さな善行をいつかまたとて悪くしてしまふ、あるいは、困窮で公正に欠ける行為が行なわれたとしても、自分の利益を優先的に、見失いを取り返してしまふ。自分の正義を、多数者の公平正義に同じくして、傍観してはいけぬ。無知であつていふ選択は、正義と反義にたつてゐる。

いかに善いものを目指してゐても、それを中止する、これを消滅させることを許すことばかりでは、この社会で正義が公正を実現することゝなる。自分の良心を服し、不正に對して毅然とした態度をとる。正義が公正を多量に作り、公平な社会の實現に積極的であるに努むてゐる。

[illegible]

▲3年別冊p.13

人権教育との関わり

人間尊重の精神に基づき、不適切な表現・描写、偏りのない表記に留意しました。

また「いじめ」をはじめとした人権上の課題に関連する教材を精選し、人権尊重の精神を育むことができるよう配慮しました。